

2026年2月25日

報道関係各位

EAGLYS 株式会社

EAGLYS と EmotionX、秘密計算 AI 実用化に向けた共同開発契約を締結 — 完全準同型暗号（FHE）アプリケーション高速化を加速 —



EAGLYS 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：今林広樹、以下「EAGLYS」）と EmotionX 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：吉水康人、以下「EmotionX」）は、完全準同型暗号（Fully Homomorphic Encryption、以下「FHE」）※1を用いた秘密計算アプリケーションの高速化に関する共同開発を推進していくことをお知らせします。

本共同開発契約は、これまでキオクシア株式会社において進められてきた FHE 高速化に関する研究成果が EmotionX に移管されたことを受け、その活動を継承する形で進められるものです。FHE を用いた秘密計算 AI の実用化に向けて積み重ねられてきた先行研究の流れを踏まえ、EAGLYS と EmotionX の新たな体制にてその技術開発を継続・発展させて参ります。EAGLYS が有する秘密計算アプリケーションの知見やソフトウェア技術と、EmotionX が展開する FHE 高速化のハードウェア技術を組み合わせることで、暗号化されたままのデータに対する AI 処理を、現実的な性能水準で実行可能とすることを目指します。二社共同により、AI 時代の抱えるプライバシー課題に向けた新しい次世代計算基盤を、アプリケーション・ソフトウェアからアルゴリズム、半導体技術まで垂直統合した形で確立することができます。

FHE は、データを復号することなく高度な分析や AI 処理を可能にする一方で、演算負荷の大きさが実用化の課題とされてきました。本共同開発では、こうした課題に対し、世界最先端水準の計算精度と処理性能の両立を目指した高速化アーキテクチャの検証および性能評価を進め、秘密計算の実装可能性をソフトウェアとハードウェアの両面から大きく前進させることを目指します。

今春リリースを予定しているプライバシークラウドサービスにおいて、本共同開発の成果を段階的に反映していく予定です。まずは技術検証・PoC を通じて、暗号化されたままのデータに対する類似度計算、スコアリング、信用判定、不正検知、閾値判定など、データベースにおける演算処理を実用的な性能水準で実行可能であることを確認します。

将来的には、暗号化状態のまま大規模データを対象としたニューラルネットワークの学習および推論処理を可能とする基盤の確立を視野にいれています。

両社は本共同開発を通じて、秘密計算の社会実装を加速し、プライバシーとデータ利活用を両立する次世代のデータ活用基盤の確立に貢献していきます。

注釈

※1 完全準同型暗号（FHE）とは

暗号化されたデータを一度も復号することなく演算を行える暗号方式。機密情報を安全に活用可能とする次世代の計算基盤技術として注目されている。

参考 URL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000042.000041103.html>

■会社情報

EAGLYS 株式会社

本社：東京都渋谷区千駄ヶ谷 5 丁目 27-3 やまとビル 7F

代表者：代表取締役社長 今林広樹

事業内容： AI×秘密計算によるインダストリーデータの活用を促進する Private AI プラットフォームを提供する企業です。『世の中に眠るデータをつなぐハブとなり、集合知で社会をアップデートする』というビジョンの下、様々なお客様の AI ならびにデータのコラボレーション促進を支援しております。

<https://www.eaglys.co.jp>

EmotionX 株式会社

本社：東京都港区芝浦 3 丁目 1 番 21 号 田町ステーションタワーS 10F

代表者：代表取締役 CEO 吉水 康人

事業内容： キオクシア株式会社からカーブアウトして設立された、完全準同型暗号（FHE）の高速化技術の中核とするスタートアップです。『隠されたものを解き放ち、語られないものを繋ぐ』というビジョンの下、プライバシークラウドおよび専用ハードウェア（FPU：FHE Processing Unit）の企画・開発を進めています。

<https://www.emotionx.co.jp>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

EAGLYS 株式会社 広報担当

pr@eaglys.co.jp